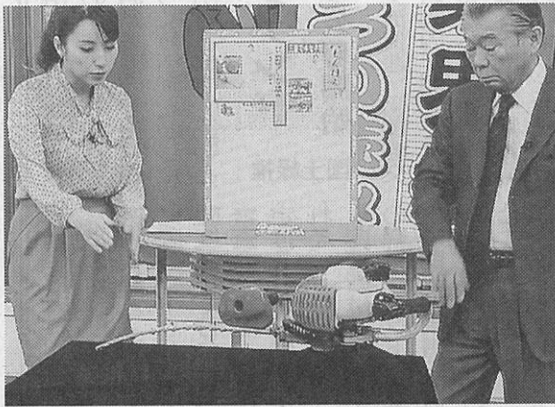


源平刃物工場が開発

(株)源平刃物工場(兵庫県三木市細川町脇川455の121)が開発した、新型ヘッジトリマー用刃物「弧形状ブレード」が、TBSの朝の人気番組「みものもんたの朝スバッ！」で紹介され、話題を呼んでいる。

業界紙が取り上げた製品を紹介するコーナーで、農経しんぼう1月30日号掲載の記事を



みものもんたの朝の番組「朝ズバッ！」で取り上げられた「弧形状ブレード」

「朝ズバッ！」で話題

玉作り造園作業に貢献

紹介。放映後、多数の問い合わせや引き合いが寄せられている。この「弧形状ブレード」は、ヘッジトリマーに装着すれば、樹木や茶葉を曲線形状に

庭木の玉づくりはもとより、生垣の曲面刈り込みなども、誰でも簡単に、失敗なく行うことができ、ヘッジトリマーの新たな使い方、需要増にもつながる。

刈り込む「玉づくり作業」が誰でも簡単にこなせるというものが、番組では装着した機械で、庭園の庭木を実際に刈り込む作業を紹介。庭木の手入れの中でも難しい技術とされる曲面仕上げが、これにより簡単に、スピーディーに、美しく行われていく様子にスタジオからも驚きの声が上がった。この「弧形状ブレード」を使用すれば、

同社は100年の歴史をもつヘッジトリマー用バリカン刃の専門メーカー。蓄積した技術を活かして常にバリカン刃を主とする各種刃物の性能改善に取り組んでおり、現在、「どんな形状のバリカン刃でも試作の要望に応えます」と業界メーカーに提案、開発連携による新たなモノ作りを呼び掛けている。同社では「弧形状

新形状ブレード2種の開発について同社・松尾勝彌社長は、「開発した2種のブレードは、日本発のオリジナルブレードアッセンブリ。国内外のヘッジトリマーメーカーさんに積極的に提案させて頂きたい製品です。これらを採用することでより進歩したガーデンングが可能になると自負しています」と語っている。